



Chuo **SDGs** Challenge Project

取組内容紹介

中央カレッジグループ 創立80周年記念事業

CSCP (Chuo SDGs Challenge Project) は、本学園独自カリキュラムで取り組むSDGs達成に向けた活動です。環境問題や経済格差、紛争など世界中で様々な問題が発生している今、自分たちに何ができるのかを考え、学生が主体性をもって様々な社会貢献活動を展開していきます。

CSCPを通じて、学生・教職員が「体験から学ぶ」ことの大切さを理解し、「自ら学び、自ら行動する」ことにより、主体性を育て、それぞれの意識変容・行動変容につなげていきます。

CSCP-コンセプト ||| Concept |||

つながっている世界

一人ひとりが意識や視点を変え、様々なことに興味を持ち、自分が起点となって行動を変える、自分の行動が世界に影響を与える

CSCP-プロセス ||| Process |||

Study!

2030SDGsカードゲーム

ゲーム体験と振り返りを通じて、体感的にSDGsの本質理解と意識変容、行動変容につなげる

Discussion!!

発想法とディスカッション

学生の価値観から生まれる発想やアイデアを引き出し、SDGsの活動計画を立案する

Action!!!

SDGs活動実施

活動計画に沿って学校単位、学科単位でSDGs活動に取り組み、状況メーターで達成状況を確認する

Share!!!!

SDGs活動の情報発信

SNSやWeb、学園祭や周年事業などのイベントでSDGs活動状況を発信する



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう





【貧困をなくそう】 フードドライブ活動

CAN 中央動物看護専門学校

フードドライブ活動

達成目標:



活動概要

自宅で余っている食品を集め、フードバンク前橋へ寄付。食料難で困っている方々にサポートを。



活動計画

- 9月 フードドライブ活動&寄付①
- 11月 フードドライブ活動&寄付②
- 1月 フードドライブ活動&寄付③
- 2月 フードドライブ結果検証

20.10.0運動の普及活動

達成目標:



活動概要

食品ロス(料理の食べ残し)を抑制するための運動。県内の飲食店へ普及活動を実施。



活動計画

- 9月 普及チラシ作成・配布活動
- 12月 食材ロスに関する講演会
- 1月 20.10.0運動の検証
- 2月 今後の活動計画の作成

代替エネルギーを学ぶ

達成目標:



活動概要

バイオマスエネルギーについて学び、今後の代替エネルギーの在り方を考える。



活動計画

- 11月 バイオマスエネルギー研修会
- 12月 カーボンニュートラルの取り組みを考える
- 2月 CANの取り組みを計画

環境に配慮した商品の購入

達成目標:



活動概要

学生・職員が日々の生活で環境に配慮されたマークのついた商品を購入。



活動計画

- 9月 環境に配慮した商品を学ぶ
- 10月 環境に配慮した商品購入の普及活動
- 2月 購入状況をアンケート調査
- 3月~継続的な実践

【食品ロスに関する学びと食品ロス活動への積極的な参加】

◆内容

1. 食材ロスについての学び
食材の使い方について、日本と海外の違いを学ぶ。
2. 2010 ゼロ運動への参加
飲食店で宴会や会食の際、開始 20 分間と終了前の 10 分間は、食事に専念して食べ残しをゼロにするという運動。新潟県との県間交流の一環。
3. フードバンク前橋への参加
賞味期限の近い食品を寄付して食べ物に困っている人へ提供する活動。前橋市が取り組んでいる。

◆背景

食品ロス問題は、日本における大きな課題と考える。また、群馬県においては、ごみの排出量が全国でもトップクラスである。学生及び職員が「食品ロス」について理解を深め、行動することで社会全体に大きな変革をもたらすことが可能となる。

◆SDGs へのつながり



「貧困をなくそう」

無駄な食品を買わなかった分、1円でも募金することができれば貧困問題の一助になると考える。



「飢餓をゼロに」

日本でも食べ物に困っている人がいるので、そういった人へ捨てるはずだった食品が提供される。



「すべての人に健康と福祉を」

「環境に配慮した食品=質が保証された食品」と考える。全ての人々がこれらの食品を口にすることで健康になれる。



「安全な水とトイレを世界中に」

捨てる食材が減ればその分ゴミが減る。ゴミが減れば水質汚染を軽減することができる。



「つくる責任つかう責任」

むやみやたらに買うのではなく、計画的に購入することができる。



「海の豊かさを守ろう」

水質汚染が軽減されれば、海の豊かさ守れる。また、魚の消費量が減れば捕獲量も減り、個体数増加につながる。



「陸の豊かさを守ろう」

食材の消費が減ることで、動物の乱獲が減る。そのため、陸の環境にも良い影響が出る。





【貧困をなくそう】 フードドライブ活動

CAN 中央動物看護専門学校

活動概要

- < 募集期間 > 令和4年7月1日～9月7日
- < 寄付日時 > 令和4年9月8日 14:30
- < 場所 > フードバンク前橋
- < スタッフ > 学生：8名 職員：1名
- < 提供食品 >
 - ・インスタント食品
 - ・缶詰
 - ・のり等



集まった食材



活動状況

食材を提供に行く様子



活動結果

- ① インスタント食品：13食
- ② レトルト食品：7食
- ③ 調味料：41個
- ④ 保存食：9食
- ⑤ 飲料：84本
- ⑥ 菓子：2個
- ⑦ 乾物：8個

参加者の声

- ・食べ物が必要としている方々について改めて考えることができた。次回、たくさんの食品が集まるように、分かりやすく伝え声掛けをしていこうと思う。
- ・継続的に寄付するためにはどのような働きかけが必要かを学内で協議し、発信していく必要がある。

影響

世界では7億3600万人が必要最低限の生活水準が満たされていない貧困の中で生活しています。日本では6～7人に1人が相対的貧困と言われ、中でも一人親世帯の貧困率は50.8%となっています。日本の生活水準は高く、衣食住の中でも食を後回しにするケースが多くなっています。





【飢餓をゼロに】 規格外野菜の有効活用

CAG 中央農業大学校

収穫感謝祭×CSCP ～キーワードは3R+Renewable～

今年で12回を迎える本校の収穫感謝祭。丹精込めて栽培した新鮮野菜や季節の花苗、美味しい加工品の販売が例年大好評です。収穫感謝祭は販売イベントとしてだけでなく、学習成果を発表する場でもあるため、CSCPに取り組み今年の収穫感謝祭では、3R(Reduce・Reuse・Recycle)+Renewable(再生可能)をキーワードとした取り組みを実施していくこととしました。具体的には、フリーマーケットの開催や環境に配慮した包装資材の使用、販売によって得られた利益の寄付などです。農と食に欠かす事の出来ない豊かな自然環境を守り、来年も再来年もずっと先も、収穫感謝祭へご来場いただいたお客様に喜んで頂ける野菜・加工品を提供し続けます。



型破りの野菜が食品ロス0へ ～規格外野菜の有効活用～

本校において収穫された野菜のうち、奇形や虫食い等で販売することが難しい「規格外品」。味や鮮度は劣らないのに、見た目や形の悪さから正規の販売ルートから脱落。実はこれこそが食品ロスの始まりとなっています。

食品ロス0を目指すには、まず発生源から。本校では今まで学生や教職員の持ち帰りにより廃棄野菜の削減に努めていました。しかし、安心安全しかも廉価な野菜が大量に求められている食の現場であれば、規格外の野菜が大活躍できることに着目。野菜も食べる人も生産した学生も、そして社会も喜べる四方よしとなります。規格外の野菜でも大切にその後の食品ロスの発生抑制につながり、食品ロス0実現に一歩でも近づくと感じています。



【CAG 産の規格外野菜・米を連携企業や自治体のフードバンクへ提供】

◆内容

本校において収穫された野菜のうち販売するのが難しい規格外品や昨年度産の米を、SDGsの取り組みに積極的な連携企業や自治体のフードバンクへ提供する。

◆背景

本校で生産される野菜の大半は本校直売所における販売のため、市場出荷に比べて規格外で販売できない野菜の発生比率は小さい。ただ、それでも極端に形が変形したものや虫食いのあるものは販売する事が難しく、在校生や職員に配布している。カビなど食品衛生上の問題がある場合を除き廃棄まで至る事は無いが、一定期間に同じ野菜が継続して配布される事となるため、在校生や職員が野菜を受け取って感じるよろこび＝収穫のよろこびを数値化した場合、収穫期当初のものに比べて漸減している事は確実である。しかし、食に困っている人々やSDGsへの高い意識を持った企業・団体が受け取った場合、そのよろこびは大きい。本活動は、食品の物理的な廃棄とはまた別の、収穫や食に対して感じるよろこび＝幸せのロスを防ぎ、幸せを最大限にシェアできる取り組みであると考えられる。

◆SDGsへのつながり



食に困っている人々へ食品を提供し、飢餓を防ぐ。



収穫物の廃棄による食品ロスを防ぐ。

◆採用理由

本校における主たる栽培方法である露地栽培では、作目によって栽培しやすい時期がある程度決まっており、市場に多く流通するタイミングで収穫される事となる。そのため、規格外野菜を身内で分け合っても各家庭内において在庫過剰状態となりやすく、あまりにその傾向が進みすぎると、学生たちが持つ食物に対するありがたみや感謝という点が薄れがちになってしまう。本活動を行う事によって学生は、食べることに困っている人が私たちの身近にいるという課題認識ができ、自分たちが栽培した野菜で喜んでもらえる人がいるという気持ちも得ることができる。それに加えて提供した野菜はフードバンクや連携企業によって最大限有効に活用されることが期待される。学校・学生・企業の三者にとって有益かつ社会課題を解決するものと判断され採用に至った。

【飢餓をゼロに】 規格外野菜の有効活用

CAG 中央農業大学校

活動概要

<実施日・場所>

- ①令和4年9月：中央農業大学校直売
- ②令和4年9月20日：前橋育英高校学食へ販売

<スタッフ>

- ①1年生ファーム農業経営学科・農業経営学科
- ②2年生農業経営学科

<提供野菜>

不順な天候（酷暑・豪雨・台風など）や特定病害虫の流行により規格外となったナス

活動状況



規格外の増量袋



規格外ナス

活動結果

- ①ナス増量袋11袋販売
(1袋100円)
- ②ナス7kgを1,000円にて
前橋育英高校学食へ販売

参加者の声

- ・理由を説明する事で見た目が悪い野菜も買ってもらえる事がわかった。
- ・直売所のお客様は傷やいびつな形に対する抵抗が少ないように感じた。
- ・自分たちが作った野菜を源に野球やサッカー等の各種大会で選手が活躍してくれる事を願っている。

影響

世界では6億9,000万人以上の人々が、飢えに苦しんでいます。一方、世界で生産されている食料のうち、3分の1に値する13億トンの食料が、まだ食べられる状態で捨てられており、食べ残しや賞味期限切れ、農作物の輸送・保存環境の悪さや収穫段階などから食品ロスが原因となっています。

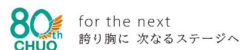




【すべての人に健康と福祉を】 子ども向け歯みがき指導

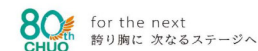
CIS 中央医療歯科専門学校 太田校
CMS 中央医療歯科専門学校 高崎校

CSCP 活動計画案



CISのSDGs活動テーマ	
国民皆歯科保険制度の設立に先立ち、虫歯予防にて健康を推進するSDGs活動を展開 学校全体の活動	
11/23(水) 勤労感謝の日「子どもオープンキャンパス」実施(小学生以下)	
活動内容/背景	
<活動内容>	<イメージ>
「健康を維持するためには、虫歯予防から」 時間がなく歯科医院へ通えない、毎日の正しい歯磨き方法がわからないという方へ、平等に歯科教育を伝達することを目的とする。また、保険指導の一環である保育園・小学校訪問がなかなか実施されない中、学生の教育の一環として有効である。	
<オープンキャンパス内容>	
・「歯磨きをきちんとしないとどうなる?」 【学生による作品発表】	
・正しいブラッシング・フロスの使い方 【歯科衛生士による指導】	
・ユニットに触れてみよう 【歯科衛生士職業体験】	
◎歯ブラシ回収BOX設置 ◎歯科専売モンダミプレゼント ※その他、校内には学生の研究作品展示等含め、展示・案内予定。	
ゴール/ターゲット	
	令和7年度を目標に「国民皆歯科検診」が実施予定。歯の健康を保つことは、体の健康を保つことになる。正しい歯磨き方法を知ること、健康が維持できることを伝えていきたい。
	専門学校で学んだ専門知識を、未来ある子どもや、歯科に関して学んでいない大人の方へも平等に伝えていきたい。口腔ケアをすることで、認知症の進捗低下や、糖尿病のリスク回避につながることも研究されている。
準備	手伝い学生の日程調整と割り振り、展示品発表作品作成、プレゼントなど
備考	誰もが平等に歯科教育を受けられる、目標1【貧困】への取り組みとともに、未来を託す世代へ、目標4【教育】を実施することにより、目標3【健康】に向けての活動を学校全体として、取り組んでいきたい。

CIS 中央医療歯科専門学校 太田校



SDGsについてのワークショップ実施!



▶身近な環境問題をSDGsの項目ごとに分けました。



▶カードゲームを通してSDGsを学びました。

子どもたちのお口の健康づくりを支援!



▶紙芝居で子どもたちに歯の大切さを伝えました。他にも顎模型を使って歯磨きの仕方を指導しました。



▶吹きゴマ&バルーンアートづくり息を吹きかけることで口腔機能の育成や改善のトレーニング。



CMS



CMS 中央医療歯科専門学校 高崎校





【すべての人に健康と福祉を】 子ども向け歯みがき指導

CIS 中央医療歯科専門学校 太田校
CMS 中央医療歯科専門学校 高崎校

活動概要

- < 日程 > 令和4年8月3日～8月5日
- < 時間 > 8:30～18:00
- < 場所 > 中央情報大学校 2号館2階 FreeLab
- < スタッフ > 学生：60名 職員：3名
- < 参加人数 > 小学生：46名
- < 体験学習 >

・セルフケアの重要性

わかりやすい言葉で仕上げ磨きの大切さを説明

・紙芝居

口腔内に関して、歯の重要性などについて児童などを対象に分かりやすい内容で説明する

・ブラッシング指導

歯の模型を使用して、磨き残しの多い場所の磨き方の指導や萌出途中の永久歯のブラシの当て方・磨き方の指導。

・口輪筋トレーニング

折り紙で吹きコマを作り、遊びながら口の周りの筋肉を鍛えることができる。また口で風船を膨らませバルーンアートを作成する。

活動状況



セルフケアの重要性



紙芝居



模型を使ったブラッシング



口輪筋トレーニング (吹きコマ、バルーンアート)



活動結果

参加者の声

- ・コロナ禍で児童等に対する保健指導など行う機会が無かったが、今回中央情報大学校と一緒に小学生に対して行えて非常に良かった。学生からは楽しくできやりがいを感じたなどの意見があった。
- ・参加者からはしっかりと磨くようになったという意見を頂き、是非継続して実施し健康な口腔内を維持してもらえればと感じた。

影響

世界では520万人の子どもたちが、5歳の誕生日を迎えることなく命を落としています。その大半は不衛生による感染症、ワクチンや治療薬の不足、栄養不良が原因となっています。

歯周病と全身の健康との関係

最近の研究から、歯周病や歯を失うことにより、全身の健康に影響が及ぶことが明らかになってきました。特に糖尿病と歯周病との関連性は強く、歯周病の治療により血糖値が改善するとの報告が多くあります。

<p>～糖尿病～ 歯周病は糖尿病のリスク因子です。血糖値が高くなることで歯周病が進行し、歯周病がさらに血糖値を上げるという悪循環が起きます。</p>	<p>～脳血管疾患～ 歯周病は脳血管疾患のリスク因子です。歯周病が炎症を引き起こし、血管にダメージを与え、脳血管疾患のリスクを高めます。</p>
<p>～狭心症・心筋梗塞などの心臓病～ 歯周病は心臓病のリスク因子です。歯周病が炎症を引き起こし、血管にダメージを与え、心臓病のリスクを高めます。</p>	<p>～糖尿病や脂質異常などの糖尿病～ 歯周病は糖尿病や脂質異常のリスク因子です。歯周病が炎症を引き起こし、血糖値を上げることで糖尿病や脂質異常のリスクを高めます。</p>
<p>～動脈硬化～ 歯周病は動脈硬化のリスク因子です。歯周病が炎症を引き起こし、血管にダメージを与え、動脈硬化のリスクを高めます。</p>	<p>～メタボリックシンドローム～ 歯周病はメタボリックシンドロームのリスク因子です。歯周病が炎症を引き起こし、血糖値を上げることでメタボリックシンドロームのリスクを高めます。</p>
<p>～肥満～ 歯周病は肥満のリスク因子です。歯周病が炎症を引き起こし、脂肪を増やすことで肥満のリスクを高めます。</p>	<p>～骨粗鬆症～ 歯周病は骨粗鬆症のリスク因子です。歯周病が炎症を引き起こし、骨密度を減らすことで骨粗鬆症のリスクを高めます。</p>
<p>～妊娠・出産後の健康～ 歯周病は妊娠・出産後の健康に影響を与えます。歯周病が炎症を引き起こし、妊娠・出産後の健康を悪くするリスクを高めます。</p>	<p>～インフルエンザ～ 歯周病はインフルエンザのリスク因子です。歯周病が炎症を引き起こし、免疫力を減らすことでインフルエンザのリスクを高めます。</p>





【質の高い教育をみんなに】 美容技術の動画配信

TBM 高崎ビューティモード専門学校

学生が学び身につけている美容技術や知識の学びの機会を提供する。

美容技術の動画活動











古着のリサイクル販売







スマイルプロジェクト 「使用済みのカラー剤容器 (廃棄)から車椅子へ」









TBM のSDGs 活動テーマ	
学校のリソースをSDGsの目標達成のためにどのように活用できるか	
学校全体の活動	
美容技術の動画配信	
活動内容/背景	
<p><活動内容></p> <p>学びたくても学べない多くの人たちに、どんな世の中でも学ぶ喜びや、夢に近づくための学びを発信し、平等で生き生きと暮らせる社会づくりに貢献する。</p> <p>日々、学生が学び身につけている美容技術、知識を1か月に1回程度動画配信して学びの機会を提供する。(ヘアスタイル、メイク、ネイルなど)</p> <p><背景></p> <p>貧困や差別により学びの機会を奪われている世界の方々に対し、美容に関する学びを提供する。</p>	<p><イメージ></p> 
ゴール/ターゲット	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">      </div>	<p>学びたくても学べない人にスキルや知識を配信することで、誰でも質の高い学びを得られる環境をつくる。また、ジェンダーにとらわれない配信をすることで、ジェンダーに悩む人が周りに気にならずに学ぶことができ、自分を表現することでジェンダー平等を実現できる可能性がある。</p>
準備	動画撮影機材、美容用具一式（ヘア、メイク、ネイルなど）、編集機材
採用理由	動画配信による各ターゲットへの目標の達成により、自身の目指す業界の知識と技術が国を越えて笑顔を創り出せること、SDGsの一翼を担うことができることを認識できる。また、自身がSDGsの起点となることで、学生自身も質の高い学びを得ることができる。





【質の高い教育をみんなに】 美容技術の動画配信

TBM 高崎ビューティモード専門学校

活動概要

<活動内容>

2022年6月～2023年3月の期間で1か月に1回程度、美容の技術動画を配信。

<目標>

あらゆる地域、生活環境でも活用出来る美容技術を配信することで平等に学ぶ機会、ジェンダーレスを可能にする。

<活動状況>

9/1(木)CSCP動画班として顔合わせ、及び目標、計画の設定を行う。

9/30(金)ペルソナを設定（中学生、女子、おしゃれに興味がある、美容師に憧れている）動画撮影。編集開始。

10/5(水)計画通りサンプル①Youtube配信

活動状況



ミーティングの様子



動画撮影



動画教材

活動結果

<配信動画>

#かんたんおしゃれテクニック”ゆるポニー編”
経過日数10日：視聴回数30回

#かんたんおしゃれテクニック”いっぽん縛りの移動”
経過日数2日：視聴回数17回

参加者の声

- ・美容学生の私達だからこそできる美容動画を配信したい
- ・撮影を通して自分の知識や技術も高めることが出来た
- ・一般の方でも出来るヘアアレンジにするため、見えやすいアングルを研究し、カットのコマ撮りなどを工夫した

影響

世界では、6～17歳の子どものうち2億5,800万人が学校へ通えません。理由としては、家計が苦しいために、保護者が子どもの勉強より労働を優先させてしまい、家事や水汲みなどで学校に行かせてもらえないこともあります。ほかにも、女の子であることを理由に教育を受けることが許されなかったり、紛争や災害によって教育の機会が奪われている子どもたちがいます。



スタディケーボンが
子どもたちの未来を
切り開きます

子どもの教育や学習機会をなくす世界中に
存在するCSCPのすべてをご紹介します。

● はじめての方へ



【人や国の不平等をなくそう】 国籍による偏見をなくす

CIA 中央情報経理専門学校

1. 国籍による偏見をなくそう



人の不平等をなくすためには人が抱えているマイナスの心象をなくす必要があります。私たちはお互いに歩み寄り、相互理解を深めることが重要と考えています。第一歩としてグループ校の特徴を活かし、学校間での活動を行っていききたいと思います。そこから活動の幅を広げていききたいと思います。この結果、多くの人が多様性に気づき国籍だけでなく、ジェンダー問題へも取り組んでいきたいと思えます。

3. フードドライブの実施



学校内で集めた食べ物等を学生が仕分け、販売し、その利益は公共機関を通して寄付します。県内のフードバンクイベントにボランティアスタッフとして参加します。食品ロスをなくし、ボランティアで学んだ社会貢献の大切さを実感し、一人ひとりの意識向上を図ります。

2. ごみをリサイクルし、環境保全へつなげる



教室のフロアごとに「リサイクルボックス」を設置し、アルミ缶やスチール缶、ペットボトルを売却した利益を寄付します。持続可能な生産消費形態を確保します。さらに、健康的な生活を確保し、福祉を促進するための「身近ですぐに」始められることとして、ペットボトルキャップをJCV^{※1}へ寄付し、世界の子どもたちへワクチンとして届けます。

※1: 国連WFP法人、世界の子どもにワクチンを日本企業

4. 差別をなくす



各学科の活動目標から、「LGBT・ジェンダー」への関心の高さを感じ取りました。「多様性」の理解と尊重は今後必要なセンスであり、まずはその理解を深めるための「勉強会」に取り組みます。そして、広げた見識を「人に伝える」活動も行います。お互いに理解し、協力し合うことの大切さを体験・実感し、温かいまちづくりに貢献することを目指します。

CIA のSDGs 活動テーマ

学校のリソースをSDGsの目標達成のためにどのように活用できるか

学校全体の活動

国籍による偏見をなくそう

活動内容／背景

<活動内容>

高崎・前橋市国際交流協会などと連携しながら地域の方々や、近隣の学校（公教育を含む）や学生・生徒との国際交流を通じて、異文化コミュニケーションの促進を図る。

<背景>

人は分からないものに対し恐怖心や不信感を抱くものであるが、人や国への不平等も同様だと思われる。日本人が外国籍の人に良くないイメージを持っているとしたら、お互いが歩み寄り、理解を深めることで解決すると思える。その第一歩として、グループ校内で国際交流を図り、日本人学生に外国や外国籍の人のことを知ってもらうことで、留学生に対する印象を変えていくことができると思える。そこから徐々に校外へと活動を広げることで地域や社会での差別をなくすことができると考える。

<イメージ>



ゴール／ターゲット



人の不平等をなくすためには日本人が抱えている負の印象をなくす必要がある。そのために必要な積極的な発信が重要であると考えている。第一歩として中央カレッジグループ内の留学生に対する印象を変え、徐々に校外へと活動を広げていく。そうすることで多様性を多くの人に気づかせる可能性があり、国籍だけでなくジェンダー問題へも発展させることができる可能性もある。

準備

学生の日程調整と割り振り、カリキュラム、教室、備品、広告物

採用理由

テーマである学校のリソース活用にあてはまること、全ての学生が日時を調整して担当できること、留学生にとって日本人とコミュニケーションをとることは留学中だけでなく、今後の生活にとっても非常に重要なファクターであること、自国の狭いコミュニティの中でだけでなく多くの人と関わることができると思える。





【人や国の不平等をなくそう】

国籍による偏見をなくす

CIA 中央情報経理専門学校

活動概要

< 日程 >

2022年9月～2023年1月に実施予定

< 場所 >

ビエント高崎、他調整中

< スタッフ >

学生：84名 職員：4名

< 活動内容 >

- ・学園祭にて民族衣装や自国の食べ物、文化、世界遺産などを紹介
- ・展示ブースでは、来場者にインタビューを行い書いて欲しい内容を母国語でメッセージカードに記載し、プレゼント
- ・模擬店ブースでは、自国の食べ物を他国の文化を考え、多様性に対応するためメニューを工夫
- ・今後はグループ校を含め、世代にとらわれることなく、様々な地域の方との交流も計画

活動状況

展示ブースの様子



模擬店の様子



活動結果

進捗率：20%

現在、各校・地域公民館へ実施日等の調整中。今後、調整が終了次第HPやSNSにて告知を行う。学生は行いたい手遊びなどのゲーム内容の検討、料理のレシピを作成していく。

参加者の声

- ・それぞれの国へ実際に行って食べてみたいと思った。
- ・自分から話しかけて、日本人の学生の人と一緒に写真を撮った。
- ・あまり馴染のない国の文化を知る良い機会になった。
- ・リアルに多文化を体験できた。
- ・民族衣装が実際に見られて、貴重な時間だった。

影響

所得や性別、年齢、障害の有無、人種、階級、民族、宗教、機会を理由とする不平等は世界各国で根強く残っています。農村部の女性は都市部の女性に比べ、出産時に死亡する確率が3倍高くなっています。ジェンダー差別による幼児殺害、妊娠中絶、栄養不良、ネグレクト(育児放棄)は、世界の総人口のうちの6,000万人～1億人の女性をこの世から‘失う’原因であると考えられています。



法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会



【住み続けられるまちづくりを】 学生による学童教室の開催

CID 中央情報大学校



活動内容

子育て支援

学生による学童教室の開催



小学生の長期休暇期間に、小学生がパソコン、デッサン、イラスト、電気体験を通して中央情報大学校が強みとしている分野を楽しく学び、学童保育のような教室を開催。

この活動により...

小学生の子供を持つ親は、小学校が長期休暇期間に入ると、子供が毎日家にいて子供の世話をする必要があり、働く時間の制限、収入の減少、時間の制約によって職業の幅が狭まるため、家庭への支援にも繋がる。と考える。

プラごみ削減

エコバッグのデザイン制作



学園祭やCID EXPO(学習成果展示会)での店頭販売と並行し、オンライン販売サイトBASEでの販売を予定。収益の一部を公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン(CFC)に寄付する。

この活動により...

海洋ゴミの50%はプラスチックやビニールであり、年間800万トン増え続けている。大量に消費されるビニールを削減するため、いつでも持っているエコバッグを制作し、ビニールの消費を削減していく。

食品ロス防止

余った食材で作れる料理レシピサイト



余った食材で作れる料理レシピを公開し活用していただくことで、食品ロスを減らしていくことが目的。また、学生のポートフォリオにも活用できる為、Web制作についての技術、知識の習得に活用。

この活動により...

あまり物レシピの掲載だけでなく、新たなアイデアとなるようユーザが投稿できる機能を付与し、ユーザたちでレシピを共有、活用することであまり物を極力出さない意識を持てるようになる。と考える。

節電対策

効果的な節電方法を普及するためのWEB制作



グリーンエネルギーである電気の無駄をなくするための普及活動として、効果的な節電方法などについてWEBサイトを制作し公開していく。

この活動により...

効果的な節電方法の普及活動は、無駄な電力消費を抑え、発電に必要な化石燃料の消費を減らすことで、発電時に発生するCO2の排出を削減し、地球温暖化による異常気象などの気候変動を抑制する可能性がある。

CIDのSDGs活動テーマ

学校のリソースをSDGsの目標達成のためにどのように活用できるか

学校全体の活動

学生による学童教室の開催

活動内容/背景

<活動内容>

学生の夏季休暇や春季休暇などの長期休暇期間に、学生がパソコンの使い方やプログラミング、デッサンやイラスト、LED電球を使った実験などを子供たちに教える学童保育のような教室を開催する。

料金は1人1日100円とし、収益は公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン(CFC)に全額寄付する。※CFC:日本で教育環境に恵まれない子どもの多様な学びを支援する団体

<背景>

小学生の子供を持つ親にとっては、小学校が夏休みや冬休みに入ると、子供が毎日家にいて子供の世話をする必要があり、働く時間が制限されたり、収入が減少したり、時間の制約によって選べる職業の幅が狭まってしまったりしている家庭もあるのではないかと考えらえる。

<イメージ>



ゴール/ターゲット



遊びの要素を入れ、楽しみながらプログラミングやデザインの勉強をすることで、論理的思考やデザインセンスが高まる可能性がある。



子どもを預けられることで、時間の制約から解放され、やりたい仕事に就くことで仕事にやりがいを持ったり、正社員として働けることで収入が安定し家計も改善される可能性がある。



正社員として働きたいが、子どもがいることで時間の制約があり、パートでの採用を余儀なくされる。不平等な雇用形態をなくすために、企業・経営者の意識変容につながる可能性がある。



地域の専門学校の学生が子ども達に勉強を教えてくれる、親も安心して働ける、人と人のつながりを大切にする、温かいまちづくりに発展する可能性がある。

準備

学生の日程調整と割り振り、カリキュラム、教室、備品、広告物

採用理由

テーマである学校のリソース活用にあてはまること、特定の学科だけではなく、全ての学科が実施可能であること、全ての学生が日時を調整して担当できること、学生にとって人に教えるという貴重な経験を積むことができ、学生自身も様々な気づきや学びが得られること、SDGsの目標達成に確実に影響を与えられること、これらを考慮し、学校全体として取り組める活動である。と考える。





【住み続けられるまちづくりを】 学生による学童教室の開催

CID 中央情報大学校

活動概要

- < 日程 > 令和4年8月3日～8月5日
令和4年8月24日～8月26日
- < 時間 > 8:30～18:00
- < 場所 > 中央情報大学校 2号館2階 FreeLab
- < スタッフ > 学生: 50名 職員: 10名
- < 体験学習 >
 - ・ゲームプログラミング体験 (CID)
 - ・フィギュアデザイン体験 (CID)
 - ・ストーンペイント体験 (CID)
 - ・バッグデザイン体験 (CID)
 - ・電気工事体験 (CID)
 - ・動物ふれあい体験 (CAN)
 - ・ヘアアレンジ、ヘア・メイク体験 (TBM)
 - ・歯みがき指導 (CMS)

制作物



活動状況



宿題タイム



バッグデザイン体験



アイスブレイク



動物ふれあい体験



バッグデザイン準備

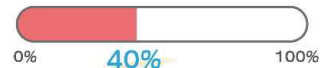


ゲームプログラミング体験

活動結果

夏休み終了時/
総参加人数…103名
募金額……58,732円
8月31日に公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンに
募金いたしました。

進捗率



Webサイトで達成状況の発信



学校HPでTV放送・新聞掲載の発信

参加者・保護者の声

見たことのある専門学校という
イメージから、身近な専門学校
へと印象が変わりました!

影響

現在世界の半数に当たる35億人が都市部で生活しており、2030年には約6割の50億人に達すると予測されています。都市膨張の影には様々な格差の存在があり、女性や子ども、障がい者、高齢者などの社会的弱者が満足な居住や十分な教育、医療サービスを受けられない状況にあります。





【つくる責任 つかう責任】 古紙再生活動

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

12 古紙再生の推進

私たち群馬法科ビジネス専門学校は、中央カレッジグループ創立80周年記念事業であるCSCP(Chuo SDGs Challenge Project)に取り組んでいます。SDGsの達成に向け、一人ひとりが主体となった地域や社会のための活動が、公益の実現を目指す公務員を志す学生の意識という点で重要な取り組みだと考えています。活動テーマの策定にあたっては、SDGsについて学んだ学生たちから、グループディスカッションを通して身近な課題を分析し、経済、福祉、食料問題など、様々な視点に立った活動の提案がありました。その中で、今回、群馬法科全体が取り組む活動は古紙再生の推進です。使用済みのルーズリーフやマークシート、余ったプリント等、学生たちの勉強生活の中では、日々、廃棄される紙が多数発生しています。そうした紙類を単なる「ゴミ」ではなく、リサイクル可能な資源として再評価し、学生・教職員が一体となった回収を始めました。回収した古紙は、鶴見製紙株式会社様の「機密書類溶解サービス」を利用し、再生紙100%のトイレットペーパーとして生まれ変わって本校で使用します。このような取り組みで、限りある森林資源の持続的な利用やゴミの減量、省エネなど、多様な面での社会貢献に繋げることを目指しています。



鶴見製紙株式会社様にご協力いただき
集められた古紙はトイレットペーパーへと生まれ変わります。

12 つくる責任 つかう責任



①抄造(抄紙)
ドライヤーで繊維を乾燥させ繊維を取り、紙を製造します。2本の重層、長さ約1-5cmの大きなジョーンズ紙ロールに作り替えます。(トイレットペーパー製造工程参照)



②学校内にて古紙回収
各クラスおよび教務室に古紙回収ボックスを設置。印刷した資料の裏紙、機密書類やラミネート紙、ルーズリーフ、アクリル板の裏紙等も回収します。



③回収した古紙を工場へ搬入
集められた古紙をトラックで工場へ搬入し、原料として再利用します。



④溶解(スラッシュバルブ)
集められた古紙を砕き、原料として再利用します。溶かされた紙は水と混ぜられ、水と一緒に濾過、乾燥されます。(溶かした紙は水と混ぜられ、水と一緒に濾過、乾燥されます。)



⑤加工(ログカッター)
原料を丸ごとトイレットペーパーサイズに調整します。



⑥トイレットペーパーの完成
上製の古紙を利用した再生紙100%のトイレットペーパーの完成です。



⑦学校へ納品
学校内で回収された古紙がトイレットペーパーへと生まれ変わって再び学校へ使われます。

群馬法科で、 古紙再生。



【古紙再生の推進】

◆内容

学校業務の中で生じる古紙(段ボールや授業プリント、データ化済みのマークシートなど)を回収し、トイレットペーパーとして再生する。

◆背景

公務員試験の主流は現在もペーパーテストであるため、本校における対策授業においてもプリントや解答用紙といった古紙が多く発生している実情がある。原料となる森林の保護やエネルギーの効率利用に配慮し、こうした古紙をただ紙ゴミとして捨ててしまうのではなく、職員と学生と共に回収に努め、積極的に再利用すべきと考えた。

◆SDGsへのつながり



7 7 再生可能なエネルギー
古紙再生の場合、木材からパルプを生産するよりもエネルギー消費が抑えられる。



11 11 持続可能な都市とコミュニティ
土壌や水資源の保全機能を持つ森林の消費を抑えることで、土砂災害や水害のリスクから住民の生活を守ることに繋がる。



12 12 持続可能な消費と生産
紙という職員・学生一人ひとりにとって身近な素材を資源として見つめ直すことで、3Rの意識向上に繋がる。



15 15 陸の豊かさを守ろう
限りある森林資源の持続可能な利用に貢献できる。

◆採用理由

当校では、模擬試験で使用するマークシートや教材プリントなどといった紙ゴミが例年多く排出されており、紙資源の再利用は学校を上げて取り組むべき課題である。また、経年の受験報告書などは紙媒体として蓄積されており、これらをデータ化したうえで古紙として活用することは、ペーパーレス化の観点から見ても有効である。更に、古紙を再生して生産できるトイレットペーパーは日用品であるため、福祉団体に寄付するなどといった社会貢献活動にも活用できる。以上の理由から、学校全体として取り組むべき活動であると考えた。





【つくる責任 つかう責任】 古紙再生活動

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

活動概要

< 日程・活動 >

令和4年9月22日～9月23日

- ・中央カレッジグループ合同学園祭にて古紙回収
- 令和4年10月5日
- ・鶴見製紙株式会社川口工場へ古紙持ち込み、再生紙製造工程を見学
- ・同工場で製造された再生紙100%トイレトペーパーを購入し、GLC内での使用

< スタッフ >

教職員 2名 学生代表 2名 (工場見学)

活動状況

古紙の持込と再生紙製造工程



活動結果

古紙回収量：180kg
トイレトペーパー
約630ロール分相当

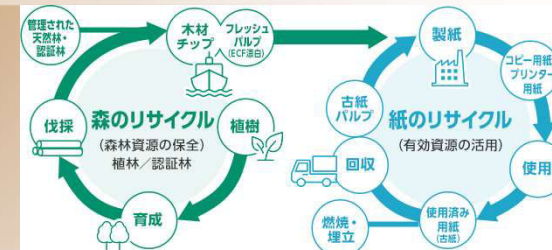


参加者の声

- ・授業でもプリント類などの紙が生じるが、しっかりと再利用していきたい。
- ・古紙以外の資源の再利用についても関心が持てた。
- ・製造に用いた水を排水する過程でも水質の管理を行っていた。作ることだけでなく、処理することにも責任が伴うことが分かった。

影響

日本の2016年の産業廃棄物は約3億8,703万トン、一般廃棄物は4,317万トンとなり、ごみの総排出量は減少しつつあります。しかしリサイクル率は20.3%と、他の先進諸国と比べるとまだ大きく下回っているのが現状です。



合同学園祭での古紙回収



回収BOX



展示ポスター



【海の豊かさを守ろう】 プラスチックごみの削減

CCHS の SDGs 活動テーマ	
学校のリソースを SDGs の目標達成のためにどのように活用できるか	
2 学年の活動	
使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収活動	
活動内容/背景	
<p><活動内容> コンタクトレンズ使用者が増加傾向にある中、使い捨てコンタクトレンズも多く使用されています。そこで空ケースを回収することで以下の3つの社会貢献につながります。</p> <p>①空ケースの再資源化による環境保全 ②障がい者の自立・就労支援 ③(公財)日本アイババンク協会への寄付</p> <p>コンタクトレンズ販売 eyecity の「アイシティ eco プロジェクト」に参加することで、これらの社会貢献を実現していきます。</p> <p>また、使い捨てプラスチックの環境問題、現在のごみ問題等も学習します。</p> <p><背景> 使い捨てコンタクトレンズの空ケースは、メーカー問わず全てポリプロピレンという素材で作られており、非常にリサイクルに適しています。</p> <p>多くの企業・学校等が回収活動に参加していますが、空ケースのリサイクル比率は未だ全体の1%未満にすぎません。</p>	<p><イメージ> 社会貢献 「アイシティ eco プロジェクト」は3つの社会貢献につながっています。</p> <p>空ケースの再資源化による環境保全 プラスチックをそのままの状態でなく、リサイクルを行うことでCO₂削減効果があります。再資源化された空ケースは、様々な製品に生まれ変わります。</p> <p>障がい者の自立・就労支援 アイシティ eco 協会の障がい者雇用施設「アイシティ eco フォレスト」には、障がい者雇用施設で回収された空ケースの回収・洗浄・乾燥・梱包などの作業が委託されています。障がい者の雇用・就労支援に貢献しています。</p> <p>(公財) 日本アイババンク協会への寄付 空ケースをリサイクル事業に活用しているアイシティ eco 協会のアイシティ eco フォレストに寄付されています。アイシティ eco フォレストは、障がい者の雇用・就労支援に貢献しています。アイシティ eco フォレストへの寄付は、障がい者の雇用・就労支援に貢献しています。</p>
<p>3 気候変動 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>コンタクトレンズ空ケースを回収することで、製品を使うものとしての責任を自覚できます。またごみの削減と資源の有効利用につながることができます。それはマイクロプラスチック問題の解決にも関わってきます。海の豊かさを守ることは、陸の豊かさを守ることに繋がります。もちろんごみを削減することはCO₂の削減にもなりますので、気候変動へのアプローチにもなります。</p> <p>さらに「アイシティ eco プロジェクト」に参加することで、社会福祉活動にも関わることができます。</p>
<p>準備 回収ボックス・ボトル、啓発用チラシ・ポスター</p>	
<p>採用理由 生徒、兄弟、保護者など各家庭にはコンタクトレンズを使用している者も多いので、身近なところからごみを減らし、リサイクルにつなげ、さらにそれをもとに社会貢献につなげられるという観点から、活動に取り組むこととしました。</p>	

CCHS 桐生の SDGs 活動テーマ	
身近なところから誰でもできる活動を通して地域・社会に貢献する	
タイトル	
【リサイクルの促進】ペットボトルキャップの回収	
ゴール/ターゲット	
<p>3 気候変動 12 持続可能な消費と生産 14 海の豊かさを守ろう 17 パートナーシップを強化しよう</p>	<p>回収したペットボトルキャップをリサイクル資源として売却、売却益を JCV に寄付し、ワクチンを製造、発展途上国へのワクチン支援で子どもの命を救える。</p> <p>ペットボトルキャップをリサイクル業者に売却することで、再資源化された様々な製品として生まれ変わる。また、ごみとして焼却しないことで、CO₂の削減になる。ペットボトルキャップのリサイクルにより、プラスチックごみの削減に貢献、河川や海のプラスチックごみを無くすることで、深刻化する海洋汚染の改善になる。</p> <p>エコキャップ運動は3万人以上の個人と、5千以上の企業・団体が取り組んでいる。</p> <p>子供から高齢者まで誰でも参加できるので、エコキャップ運動という社会貢献を通して、家族や学校、地域の絆が深まる。</p>
実施報告	
<p><日程> 令和4年7月25日 ～10月5日現在も継続中</p> <p><内容> ○家庭(生徒・保護者) ・意義や目的を三者面談の際に生徒・保護者に周知し、協力を依頼 ・生徒を通じて回収 ○地域(一般) ・意義や取り組みを記載したチラシを学校の周辺にポスティングし、協力を依頼 ・直接学校へ持参 <回収場所> 家庭 各学年の回収箱 地域 外の自販機の回収ボックス</p>	<p><活動状況> キャップ回収#</p> <p>一般用回収ボックス設置</p> <p>地域へのチラシ配布#</p>
<p>SDGs活動 推進15周年記念 エコキャップ 大作戦</p>	<p>エコキャップ運動は、ごみ削減と資源の有効利用を目的として、ペットボトルキャップを回収し、リサイクルして製品に生まれ変わらせる活動です。</p> <p>回収されたキャップは、リサイクル業者へ売却し、売却益を JCV に寄付し、ワクチンを製造、発展途上国へのワクチン支援で子どもの命を救える。</p> <p>回収されたキャップは、リサイクル業者へ売却し、売却益を JCV に寄付し、ワクチンを製造、発展途上国へのワクチン支援で子どもの命を救える。</p>

【海の豊かさを守ろう】 プラスチックごみの削減

CHS 中央高等専修学校前橋校
CHS 中央高等専修学校桐生校

活動概要

<ペットボトルキャップ回収>
令和4年7月25日～10月5日
家庭や地域からの回収
校内・校外に回収BOX設置



<コンタクト空ケース回収>
令和4年4月25日～
家庭や学校関係者からの回収
校内に回収BOX設置

活動状況

ペットボトルキャップ回収活動



活動結果

★コンタクト空ケース
回収量：480g
CO₂削減量：1.33kg
アイバンク寄付金：9.6円
★ペットボトルキャップ
回収量：9.07kg (4,532個)
ワクチン数：4人分
CO₂削減量：27.195kg

参加者の声

- ・他に再資源できるものがないか考えるようになった。
- ・身近なところから、CO₂の削減につながる事がわかった。
- ・チラシを配った効果があって、うれしかった。
- ・ワクチン数を増やすために、もっとみんなに声をかけていきたい。

コンタクト空ケース回収活動



コンタクトケース回収BOX



学生制作の啓発ポスター

地域へのチラシ配布活動



影響

既に世界の海に存在しているといわれるプラスチックごみは、合計で1億5,000万トン。そこへ少なくとも年間800万トンが、新たに流入していると推定されています。海洋ごみの影響により、少なくとも約700種もの生物が傷つけられたり死んだりしています。このうち実に92%がプラスチックの影響によるもので、ポリ袋を餌と間違えて摂取することによるものです。





【陸の豊かさを守ろう】 尾瀬の環境保全活動

～限りある資源を持続可能な資源にするためにどのような創意工夫ができるか～

授業の中で発生してしまう“ゴミ”を、“ゴミ”という最終形にするのではなく、再利用の価値(=方法)を見出すことで、限られた資源を有効活用し創意工夫して活かす！

☆段ボール固定具☆



☆テーピングの芯補助具☆

～尾瀬戸倉の森、尾瀬ヶ原の自然体験を通し、自然を知り守る環境保全活動を行う～

本州最大規模の高層湿原である尾瀬ヶ原の自然の魅力を知るとともに、水を育む、CO2を吸収し酸素を供給する、野生動物の生息・生育の場、木材を供給するなどの森林や里山の持つ役割を理解する！！

ブナ間伐体験

〈もやい結び〉



もやい結びという結び方で木にロープを括り付けます。



のこぎりで木を倒す方向に受け口反対方向に追い口という切れ目を入れていきます。



最後にロープを引っ張って木を倒します。間伐する事で木々の成長が良くなる・土砂災害防止機能増進などの効果があります！

ヤマネ調査体験

ヤマネとは正式名称「ニホンヤマネ」国の天然記念物に指定されていて、豊かな生態系が保存されている森が判断する指標動物とされています。



専用の伸び縮みする棒を使って、巣箱を木から外して中を確認します。



実物は見れませんでしたが生きていた形跡は発見できました！



【尾瀬 SDGs ハイキング】

◆内容

- ① 尾瀬戸倉ブナ林の間伐作業人工林を自然林に戻す間伐作業で森林の環境保全活動を行う。
- ② ニホンヤマネの調査体験。野生動物の調査体験生物の生態多様性について関心を深める。
- ③ 尾瀬ヶ原の自然の魅力の楽しさを味わい、尾瀬の自然保護の取り組みを知る。

◆背景

本州最大規模の高層湿原である尾瀬ヶ原の自然の魅力を知るとともに、水を育む、CO2を吸収し酸素を供給する、野生動物の生息・生育の場、木材を供給するなどの森林や里山の持つ役割を理解する。また、理解、体験することで自分自身が自ら環境保全活動に参加している自覚を持たせることで、自然環境への影響と普段の生活環境での意識を高める。

◆SDGsへのつながり

3 持続可能な開発目標 尾瀬の自然の保護の取り組みを考えながら、身体を動かすことで心身をリフレッシュさせることで豊かな感性を育む。

7 持続可能なエネルギー 地球温暖化の影響の尾瀬への影響とともに、尾瀬ヶ原の泥炭カーボン貯蓄が大气中のCO2を吸収する仕組みなどを理解することが出来る。

4 質の高い教育をみんなに 尾瀬の自然環境での間伐体験やニホンヤマネの調査体験、スマホも通じない山小屋で過ごす希少な体験ができる。

15 陸の豊かさを保つ 尾瀬戸倉の森では木材を供給するなどの森林や里山の持つ役割、間伐が行われる事で持続可能な森林施業を学ぶことが出来、尾瀬ヶ原で使われている木道の材料となる事を知ることが出来る。

◆採用理由

本州最大規模の高層湿原である尾瀬ヶ原、美しい自然の魅力、歴史やその自然を次世代に残す取り組みを知ること。戸倉の森には多様な生き物が生息しており、ニホンヤマネやネズミなどの生態を調査することで、自然の多様性を楽しみながら学びます。針葉樹の人工林で間伐作業を行い、道具の使い方、間伐の目的を学び、一本一本の樹木の成長を促進させ、より健全な森へと育てていくために作業を行います。普段かかわりのない尾瀬の自然体験をすることで SDGs を推進する一つの手段として採用に至った。



【陸の豊かさも守ろう】 尾瀬の環境保全活動

CSM 中央スポーツ医療専門学校

活動概要

< 日程 >

令和4年8月31日～9月1日（前半）
令和4年9月12日～9月12日（後半）

< 場所 >

片品村・西栗沢ブナ植林地・至仏山荘・尾瀬ヶ原

< 参加者 > 学生：27名・25名 職員：4名・4名

< 体験学習 >

- ・ 間伐体験
- ・ ヤマネ調査体験
- ・ 尾瀬ヶ原散策体験

広告物



活動状況



間伐体験



ヤマネ調査



希少なヤマネ



集合写真



尾瀬ヶ原散策



尾瀬ヶ原

活動結果

SNS・新聞掲載記事での発信



参加者の声

間伐により、木々の成長、CO2吸収量、カーボンの固定化の増加、多彩な植物が増える事で、生物多様性が豊富になるなど、多くのことを学びました。
動物の生きやすい場所を作るためには、自然を豊かにするだけでなく、巣を人工的であったとしても提供することも一つの方法だと感じました。

影響

陸地に生きる植物は人間の食料の80%を提供しており、全人口の20%強にあたる約16億人の人々が森林由来の資源に依存した生活をしています。現在、人間の活動によって、耕作地の損失は30～35倍のスピードで進行し、陸上で確認されている8,300の動物種のうち、8%は絶滅し22%が絶滅の危険にさらされるなど、非常に危険な状態です。

